

北九州市民の会ニュース

市長選の総括

～第5回拡大幹事会が行われました～

2月3日、小倉北区ムーブにて「憲法をくらしに生かす市民の会」拡大幹事会が行われました。

1月25日に投開票された北九州市長選挙に関する総括を行いました。

市全体の投票率は35.9%となっており前回の投票率37.0%を下回り、過去最低投票率を更新しました。各候補者の得票に関して、篠田清候補は36,979票で13.14%、北橋健治候補は201,931票で71.73%、三原朝利候補は42,599票で15.13%でした。

市長選挙に当たっての経過報告を行い、評価と教訓を議論しました。

【評価】

- 1、11月18日に出馬表明を行ったが、衆議院解散によって、市長選挙は実質1カ月余りの戦いとなったが、篠田候補の13.1%は直前の総選挙での日本共産党の市内で得た13.5%の得票を維持するものとなった。
- 2、無党派からの得票もあったがその要因は大型開発にのめりこみ、安倍暴走政治の仲間入りをした北橋市政への批判が重なり合い、一定の保守層も含めその期待が集まった。
- 3、財源がないとの理由で高齢者福祉の切り捨てや、子育て支援をさぼる一方で、新スタジアム建設などに税金を投入する姿勢に批判が広がった。
- 4、ビラの届きにくいところに、5万枚の篠田ビラを商業新聞に折り込んだ。
- 5、大企業応援から、くらし・福祉応援の市政をつくろうという訴えは共感を集め会に参加した団体・個人の運動を励ました。
- 6、北橋候補は得票数で12,296票減、有権者比で25.5%の支持であり、得票率が史上最低の35.9%となった要因は、北橋陣営の選挙戦術によるもの。
- 7、三原候補の得票数で42,599は、北橋候補が自民党単独推薦を受ける一方で、民主・社民、公明など市議会会派の推薦を受ける態度に自民党支持層の批判が集まった結果である。
- 8、運動を支えた本部事務局員の派遣やアナウンサーは各団体延べ142人、直轄地区委員会延べ10人となり運動推進の大きな力となった。

【教訓】

- 1、候補者擁立の遅れが運動の遅れとなった、要因は市民の会運動の不十分さにある。住民運動と市民の会各区・校区の組織づくりは今後必須のものとなる。
- 2、共産党支持層の14.8%が北橋候補へ（西日本道）支持以来の運動が構成員全体に届いていない。
- 3、各団体の取り組みで、方針徹底が不十分であることが、様々な局面で現れた。
- 4、参加団体の勢力が後退している中、各団体の勢力拡大に、市民の会も力を尽くす。
- 5、政策は延べ10数回の政策委員会で議論を踏まえ、市民の声を集める努力の上に作り上げてきたが、民主団体、各区の会などとの意見の交換を十分に行うべき。
- 6、今回、市民参加型のホームページを公開し、ITを駆使した広報活動を行い広い市民への拡散を試みた。十分な拡散とはならなかったが今後生かすべき。
- 7、選挙戦を通じて意見と要望が寄せられたがこの願いを実現させる取り組みこそが我々の責務。

その他、各区民の会からの総括など意見交換を行い、財政に関する報告を行いました。

今後5月中旬以降に第6回幹事会を開催することとなりました。

～お知らせ～

さよなら原発！3・8北九州集会

日時：2015年3月8日（日）

第1部アトラクション 12:00～

第2部本集会 13:00～

デモパレード 14:20～

場所：三萩野公園（メディアドーム横）

平和とくらしを守る北九州市民の会
〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F
TEL093-592-5000 FAX093-571-4346
<http://siminnokai.sakura.ne.jp>
e-mail:koe@siminnokai.com